

医療費助成の対象疾患が 11追加

難病患者に対する支援として、医療費助成の対象となる疾患が 11 追加されます。

■追加される対象疾患名

- | | | |
|---|-------------------------|---|
| 1. 間脳下垂体機能障害
I PRL 分泌異常症
II ゴナドトロピン分泌異常症
III ADH 分泌異常症
IV 下垂体 TSH 分泌異常症
V クッシング病
VI 先端巨大症
VII 下垂体機能低下症 | 2. 家族性高コレステロール血症（ホモ接合体） | 3. 脊髄性筋萎縮症
4. 球脊髄性筋萎縮症
5. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
6. 肥大型心筋症
7. 拘束型心筋症
8. ミトコンドリア病
9. リンパ脈管筋腫症（LAM）
10. 重症多形滲出性紅斑（急性期）
11. 黄色靱帯骨化症 |
|---|-------------------------|---|

■注意点

上記の 11 疾患に限り、平成 21 年 12 月中に窓口申請された場合は、有効期間の始期を最大で平成 21 年 10 月 1 日に遡ります。ただし、認定基準を満たすこととなった日が、平成 21 年 10 月 1 日以降である場合は、始期は認定基準を満たすこととなった日となります。

※特定疾患治療研究事業の対象と認められるためには、上記の対象疾患と診断されるだけでなく、国が定める認定基準を満たす程度の症状及び所見が必要です。

■申請及び相談窓口

加東健康福祉事務所地域保健課

【問合せ】 加東健康福祉事務所 地域保健課 ☎0795-42-5111

1月22日の町ぐるみ健診の健診項目追加のお知らせ

広報 10 月号でお知らせしました 1 月 22 日の町ぐるみ健診の健診項目を次のとおり追加しました。まだ受けてない方は、是非ご利用ください。

申込書と返信用封筒は、市役所国保健康課及び各公民館、JA 支店窓口、アステアかさい、健康福祉会館に置いています。

※大腸がん検診は当日、便の提出が必要です。事前に採便容器をお渡ししますので、早めの申込みをお願いします。

【申込・問合せ】 国保健康課 ☎④8723

健康づくりに関するアンケート調査にご協力を

加西市では、市民一人ひとりの生涯にわたる健康づくりを支援し、次世代を担う子どもたちの健全な育成を図り、健康寿命の延伸を目標に「健康かさい 21」計画に基づき様々な保健活動を実施するとともに、平成 20 年度から始まった特定健康診査や特定保健指導の円滑な実施のための取り組みを行っています。

これらの活動及び事業に関して皆様のご意見と健康づくりに関する意識及びニーズを把握するために 20 歳以上の市民の皆様から無作為抽出でアンケートを郵送配布しています。



今後の健康づくりに関する取り組みに活かすための重要な調査です。

アンケートが届いた方は、ご回答の上、12 月 21 日（月）までに同封しています返信封筒でご返送ください。

【問合せ】 国保健康課 ☎④8721

■歳末たすけあい運動にご協力を。「みんなでささえあうあったかい地域づくり」

「歳末たすけあい運動」が全国的に行われ、加西市でも、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域の福祉活動を展開しています。心のこもった「たすけあい運動」になるよう、皆さまのご協力をお待ちしています。 問合せ／加西市共同募金委員会（社会福祉協議会内） ☎④ 8888

市立加西病院 地方公営企業法の全部適用へ移行(12/1 から)

市立加西病院は、12 月 1 日付で地方公営企業法の財務規定のみを適用する「一部適用」から、組織や職員の身分取扱等を含むすべての規定を適用する「全部適用」に移行しました。これは、全国的な医師不足をはじめとして、病院を取り巻く環境が大変厳しい状況になっており、医療制度改革等にも迅速に対応し、魅力ある病院とするための措置です。全部適用に移行しても、加西市直営の公立病院であることに変わりはなく、今の診療内容等が変わることはありません。



市立加西病院事業管理者任命式（12/1）
全部適用への移行に伴い山邊院長（左）を事業管理者に任命

■地方公営企業法の全部適用とは

地方公営企業法のすべてを適用することで、従来は市長にあった組織、人事などの権限が事業管理者に移行し、病院運営に求められる柔軟性、迅速性に富んだ取り組みが可能となります。

【問合せ先】 市立加西病院 病院経営推進室 ☎④2200

加西病院のコーナー

加西病院WEB サイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

『ボランティア』

■市民からのボランティア

加西病院は市民の皆様より、平素から、たくさんの支援を頂いています。

その一つが、ボランティア活動です。外来で案内役を務めて下さるにこやかな女性や、患者さんの目には触れずとも地階作業室にて身体清拭用のタオルを準備くださる個人・団体の方々には、本当に長い間お世話になっています。また、病院周囲の美化に毎年参集下さる団体や高校生がいます。あるいは車椅子を毎年点検修理下さるボランティア、園児による入院中のお年寄りへの慰問、入院を過ごし易くする手作りの小物の寄付など、数え上げればきりがありません。

この場を借りまして、病院を支えて下さるボランティアの方々へ改めて感謝を申し上げます。

■病院職員のボランティア

一方、病院職員にありましても、市民の方々に向けたボランティア活動が盛んです。ホスピタル・フェアは毎年 100 名を超える院内職員が、参加される市民の方々のために趣向を凝らした奉仕を行っています。フェアはすでに 6 回を迎えました。また看護の日やトライアル・ウィークでは、看護体験の生徒さんを受け入れるため大勢のスタッフが奉仕します。また“まちの健康室”では、地域に向いて市民の方々の健康チェックや相談を受けています。

市民からは気づかれ難いのですが、加西病院は医療を目指す若い学生さんの実習を実に沢山受け入れています。医学、看護、薬剤、リハビリ、検査、栄養管理、等々、日本の医療の将来を担う若者に熱意を持って教

育・指導を行っています。教育は教える側のボランティア精神無くしては実の薄いものになってしまいます。その意味で、加西病院職員のボランティア精神もまた、極めて称揚すべきものと思っています。

■院長の希望

市民の方から、病院が今必要とするボランティア活動や寄付を具体的に市民にお願いしたらよいのではないか、というアドバイスを頂きました。大変有り難い提案です。病院のボランティア窓口は地域医療室です。市民の皆様は病院からの要望を情報発信してゆきたいと存じます。勝手ながら、病院運営を預かる院長の希望と致しましては、現金のご寄付を頂ければとても有難いです。そのお金を医療の質向上の原資として、市民の皆様のお心に還元したいと考えています。よろしくお願い申し上げます。（病院長）



写真：ボランティアによる病院の美化作業
病院に受診される患者さんが心なごむよう、病院周囲の緑の美化を毎年作業頂いております。この奉仕に限らず、大変多くのボランティア活動を各種の団体・個人の皆様より頂いており、深く感謝する次第です。